

地域おこし協力隊とは？
 地域おこし協力隊とは、総務省が平成21年度から取り組んでいる制度で、都市部の意欲ある人材が地方へ移住(最長3年)し、地域力の維持・強化を目的とした支援活動を行うものです。

移住してきて4年、
 協力隊を終え、
 1年半が経ちました



かわまた 河又 けいた 恵太 さん 33歳 神奈川県から移住

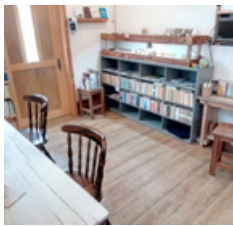


まちのベンチ



Instagram

笠間市八雲1-1-14 10:00-16:00頃 水日定休



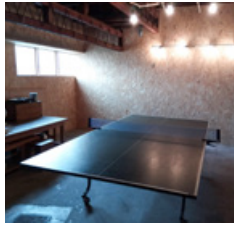
客席



入り口の暖簾



卓球場は展示会場にも



店内奥卓球場



店内には作家さんの作品の展示販売も

お久しぶりです。元笠間市地域おこし協力隊の河又です。ありがたいことに、また記事を書かせていただく機会をいただきました。さて、何を書こうかと思うと、今も協力隊時代から変わらず「まちのベンチ」という場所を運営しています。何をしているかというところ、日本茶カフェだったり、本が読めるブックカフェだったり、卓球場だったり、作家さんの作品を展示販売したり、Tシャツを展示したり、お絵描き教室であったり。プラレールを走らせる場所になることもあります。協力隊の頃から、何をやる場所なのか説明が難しいのです。今でも、多くの方に「ここはカフェなの？」と聞かれるたびに、「どう思いますか？」と思わせぶりな返事をし、困惑させています。コロナ時代になり、お店のことを考える時間が増え、出した答えは、「使つてくれる方次第で変わる」ということです。少しホッとできたり、気軽に話ができたり、楽しい出会いや体験があったりすれば、そこが何であれ大切にしたいだけだから、ジャンルなどはなんでも良いのかな。これがお店を3年ちよつと続けてようやくわかったことです。たまに「まさに「まちのベンチ」ですね」と言われると嬉しくなるので、名前に引張られた場所づくりだったのかもしれない。何かを始めるといことは簡単ですが、続けるというところは難しい。これから、友部の駅前で多種多様な方々がちよつと立ち寄れる「まちのベンチ」を続けながら、「何かを始めたい方」や「何かを続けたい方」の手助けもしていけたらと思っています。



フェイスブックも
 ご覧ください

問 企業誘致・移住推進課 (内線592)

新しい年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



「やさしい保険プラザ」は昨年7月末に友部スクエアでの営業が終了し、8月から仮事務所での営業と、皆様には大変ご不便をおかけしております。

新店舗建設(住吉地区)は、2022年夏の完成を目指し進めておりますのでうしばらくお待ちいただければと思います。

「やさしい保険プラザ」は、2022年もスタッフ一同努力してまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます



やさしい保険プラザ

☎0296-71-9050

フェイスブックも
 ご覧ください

